

## ◆あなたに語る・時代を超えて生きる心◆

てんじ かいせつ  
 展示中の作品について、研究員が分かりやすく解説します。

## 歴史上の人物を描く —細川ガラシャの場合—

みなさんは、細川ガラシャという人を知っていますか？「ガラシャ」というと、なんだか外国の人の名前みたいな響きがありますが、そういうわけではありません。本能寺の変で織田信長を討った、あの明智光秀の娘です。本名は玉（または玉子）といい、ガラシャというのは洗礼名（キリスト教の信者になる、洗礼という儀式のさいに付けられる名前）です。洗礼名には、キリスト教の聖人の名前などが使われることが多いのですが、ガラシャは「神の恵み」を意味するラテン語のグラティアに由来します。

しかし、ガラシャはもともとキリシタン（キリスト教の信者）だったわけではありません。はじめは、仏教の禅宗という宗派の教えを深く信仰していたようで、とくに建仁寺の英甫永雄というお坊さん（ガラシャにとっては義理のいところに当たる人）に教えを受けていたと伝えられています。

父光秀の起こした本能寺の変により、「謀反人の娘」となったガラシャ。やがて、夫の忠興から聞いたキリスト教の教えに関心を抱くようになり、自らの強い意志で洗礼を受けたのでした。

その後も信仰を深めたガラシャでしたが、関ヶ原の戦いに先立ち、徳川家康に従って出陣していた忠興の留守中、石田三成の軍勢に屋敷を囲まれてしまいます。豊臣方の人質となるのを拒んだガラシャは、家老の手を借り、自らその生涯を閉じました。38歳の時でした。



図1 細川伽羅奢 浅見松江 筆  
 昭和5年(1930) 京都国立博物館(白寿斎コレクション)



図2 細川伽羅奢 浅見松江 筆(部分)

みなさんなら、このガラシャの姿すがたに何を思うでしょうか。絵を見る楽しみは、そんなことを語り合うところにもあるように思います。

(美術室 福士雄也)